

クレディセゾン、郵政事業庁、ビザ・インターナショナルと提携

日本初、ご利用枠を自在に設定できる、

『郵貯チェックカード《セゾン》』VISAカードを発行

クレディセゾン（東京都豊島区 代表取締役社長：林野宏）は、郵政事業庁、及びビザ・インターナショナルとの提携によって、お客様のさらなる利便性の向上を目指し、国内初となる貯金保留型の決済カード、「郵貯チェックカード《セゾン》」VISAカードを9月より発行。100万枚の発行を目指します。

郵貯チェックカード《セゾン》は、既に欧米などで広く利用されている貯金保留型の決済カードです。これまでのクレジットカードとは異なり、お客様がご自身の郵便貯金残高の中から、予めご利用枠（保留金額）を設定（特定保留）し、その範囲内でご利用いただけるカードです。

カード発行を受けたお客様は、日本全国の郵便局でご自身の貯金を保留する手続き（特定保留）によって、保留金額が自動的にカードのご利用枠として設定されます。お客様はそのご利用枠の範囲内で、クレジットカード同様に、国内海外の約2500万店のVISA加盟店やセゾン加盟店等にてサインでショッピングをご利用いただける他、海外約75万台の提携ATMで郵便貯金を現地通貨でお引き出しすることも可能となります。カードのご利用代金は、設定された保留金額より引き落とされますが、保留金額を補充することにより、自由にご利用枠を増額することも可能です。

1992年以来、クレディセゾンは、郵政事業庁とのジョイントカード、郵貯カード《セゾン》を発行してまいりましたが、これまでクレジットカードを敬遠していたお客様や、学生、専業主婦の方々など入会申込み時に煩わしさを感じていたお客様に対し、新たな決済サービスをご提案することで、全国8000万人の郵便貯金ご利用者のお客様に向けて、更なる利便性の向上を図っていくとともに、幅広いお客様との関係構築を目指してまいります。

当初は、東京都及び東海地方（岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）においてパイロット展開を行い、2003年1月以降は募集エリアを全国へ拡大していく予定であります。

クレディセゾンでは、「サービス先端企業」を理念とし、常にお客様の視点で考え、お客様のニーズに応えていきたいと考えています。今後もお客様にとって使い勝手の良いカード、安心して使っていただけるファーストカードを目指してまいります。



表 面



裏 面